

<申請書（様式（甲））の記載例（許可申請書（協議書）各条共通）>

様式（甲）

許 可 申 請 書  
協 議 書

（ 文 書 番 号 ）  
令和 年 月 日

青森県上北県土整備事務所長 殿

申請者：郵便番号  
住 所  
氏 名  
電話番号

別紙のとおり河川法第25条の許可を申請します。

別紙のとおり河川法第25条に関し、同法第95条の規定に基づき協議します。

国等の場合

関連する根拠条文をすべて記載  
すること。

国等の場合（「協議」）

備 考

- 1 申請者が法人である場合においては、氏名は、その法人の名称及び代表者の氏名を記載すること。

<法25条の記載例>

様式(乙の3)

(河川の産出物の採取)	
1 河川の名称	○級河川 ○○川水系 ○○川
2 採取の目的	販売のため
3 採取の場所及び採取に係る土地の面積	自：○○郡○○町大字○○字○○○番地先 至：○○郡○○町大字○○字○○○番地先 土地の面積 ○○m <sup>2</sup>
4 河川の算出物の種類及び数量	砂 ○○m <sup>3</sup>
5 採取の方法	機械による採取 サンドポンプ船 ○台
6 採取の期間	令和○年○月○日から○年○月○日まで

水系名及び河川名を明記すること。

販売用、自家用等の目的を明記すること。

地番又は地先まで明記すること。

面積計算はm<sup>2</sup>を単位とし、原則として三斜法により小数点第3位まで求積計算し、合計面積は小数点以下第3位を切捨てて記載すること。

砂、砂利、玉石、切込砂利及び土砂については「m<sup>3</sup>」で、転石については「個」で、切石については「切」で、かやについては「束」で、竹木及び埋もれ木については「m<sup>3</sup>」で数量を記入すること。

備考

- 土石の採取にあつては、次のとおりとすること。
  - 「河川産出物の種類及び数量」については、砂、砂利、玉石その他の土石の種類ごとに、その数量を記載すること。
  - 「採取の方法」については、機械掘り又は手掘りの別を記載するとともに、機械掘りにあつては、その機械の種類、能力及び数並びに採取に係る掘削又は切土の深さを記載すること。
- 「採取の方法」については、採取した河川の産出物の搬出の方法及び経路を付記すること。
- 許可を受けた事項の変更の許可にあつては、変更しない事項についても記載し、かつ、変更する事項については、変更前のものを赤色で併記すること。